

×つた小野知事は、積極的な健金予算案について明瞭にしました。

大をかり、(2)紀伊平野をはじめとする土地改良事業、名田地区的畠地かんがい施設、

整備、指導船の建造をすすめます。また漁業の実態調査に

よる抜本的な構造改善をすすめます。

整備が必要です。このため新年度の整備費総額は、前年度当初予算に比べて十一億九千余万円も多い三十六億一千余万円を計上しています。

ここでこの点に留意して引き続

き推進していくことを、国際観光ルートの設定

まで東京オリンピックをめざして、第二回台風で大きな被害を受けた海岸線四十数キロメートルをはじめて、二十八年災害以来がつて重要な課題です。した

めに、通信教育の充実、国立工業高等専門学校の誘致対策、和歌山工高・御坊商工の拡充など、教育の充実・振興をはかります。

許可は受けられません。これらが認められたおもな事は、危険ですから、さきほど述べたが、これらのことに反して、広告を立てたとき

は、とりのぞかれたり、罰金

を科されます。

わいことは、県計画課が土木出張所で、とりあつかって

かれ」との願いをこめた除幕

いますから、といあわせてく

式が行なわれました。

この塔は、県下の遺族が持つ

方(農林)事務所か金融機関

をしています。

この制度にはいろいろな利点がありますから、くわしいこ

とでありますから、といわせてく

目ざして、積極的な呼びかけをしています。

この制度にはいろいろな利点がありますから、くわしいこ

とでありますから、といわせてく

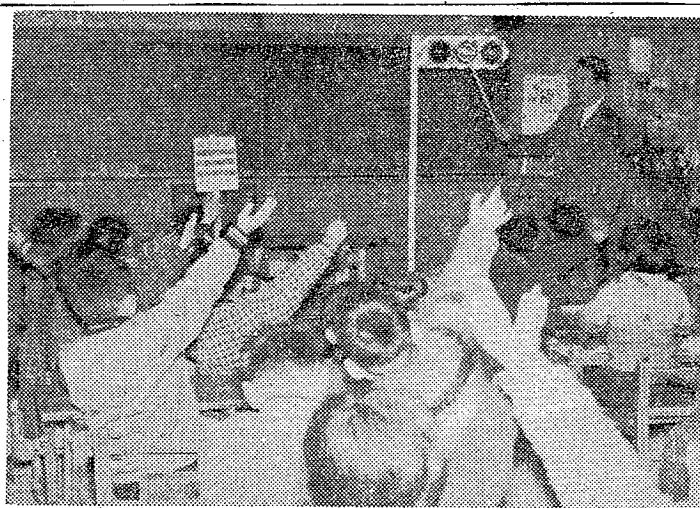
目ざして、積極的な呼びかけをしています。

この制度にはいろいろな利点

がありますから、くわしいこ

とでありますから、といわせてく

社会科で正しい交通の勉強（雄辻小）



最近交通事故がますます激増し、交通事故による死傷者が多く、大きな社会問題となっていました。そこで県では、すべての機関や県民が一丸となって交通事故をなくすこと、「県民運動」をはじめています。

この県民運動に呼応して、昨年県下で三百三十三名の死傷者（小学生）のうち百三十七名（四十一ヶ）を出した和歌山市内の小学校では、PTAや警察が一体となって、可愛い学童を交通事故から守ろうと、自動車の往来のはげしい国道や県道での黄色いマーカーを設置しました。

この県民運動に呼応して、昨日から「交通事故をなくす県民運動」をはじめています。

この県民運動に呼応して、昨日から「交通事故をなくす県民運動」をはじめています。

この県民運動に呼応して、昨日から「交通事故をなくす県民運動」をはじめています。

この県民運動に呼応して、昨日から「交通事故をなくす県民運動」をはじめています。



僕らで正しい歩行

交通事故を口で明るく暮らそう

あなたも私も
歩行指導をするようになります。
した。その後、校外指導は先生の手に、それから今ではPTAの方々がやるようになります。

また、PTAでは交通班をもつたり、しばしば地区をあげての父兄懇談会を開き、子供達の交通安全についていろいろ話します。

昭和三十二年に結成された「地蔵尊子供クラブ」のお母さん達は、も参加しています。

このように、お母さんがで活や子供たちの問題など話し合っています。そのほか子供たちの情報教育を高めようと、ハーモニカ合奏をしたり運動などのレクリエーションに

ます。

また事務上の手違いから通知もれや指定校の間違いもあるかもしれませんから、変だと思ったら進んで教育委員会へ申し出下さい。

○・住所変更と入学

在校の住民票で学令簿をつくりますから、保護者は新住居

の教育委員会へ届け出ないと、入学通知がこないことがあります。

二月一日以後に住所を変更した場合

○・就学困難①病弱、発育不全またはむしを患な

い理由があれば就学義務を

免除するための学校

○・学用品の選び方

児などのための学校

○・耳と関する知識は

毎年三月三日は「ひな祭り」であることは、皆さん

がよく知っていますが「耳

によるもの、中耳炎を完治しないために、たびたび中耳炎を起こして耳が遠くな

ります。

○・耳と関する知識は

毎年三月三日は「ひな祭り」であることは、皆さん

がよく知っていますが「耳

によるもの、中耳炎を完治

するための、中耳炎を完治

東北新報 東北新報

あなたも私も
事故ゼロで明
るく暮らそう

有利な暖地園芸

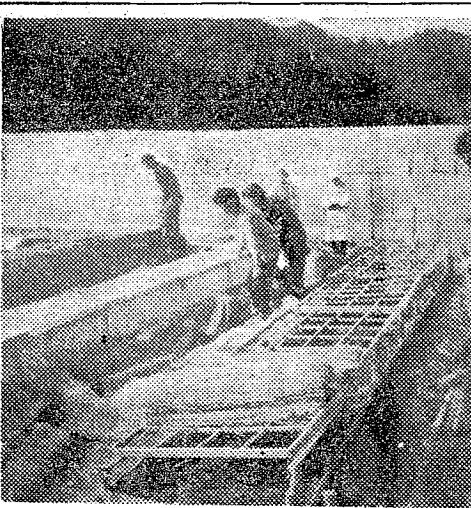
ことしも出荷は順調

農業の近代化と多角經營をめざして始められた、ビニールハウスによる暖地園芸は、県の指導もあって、ますます盛んになっています。

とくに、ことしはキュウリの生育が順調で、昨年より一週間ほど早い1月末から、西岡農協はじめ太田、那智、宇久井農協などから市場へ出荷されています。

そこで県では、農業改良普及員の、そ菜特別研修会を行ない、また現地を見学、農家と

写真→普及員が巡回して栽培技術を指導



がはじめられています。市場の向上につとめています。

では、そのきれいもあり、相当の高値とあって、栽培農家をよろこばせています。

そこで県では、農業改良普及員の、そ菜特別研修会を行ない、また現地を見学、農家と

話しします。

古座町「十三夜会」

古座町古谷地区の十三夜(トミヤ)会は、生活改善グループとして昭和二十八年の三月に発足し、毎月の旧暦十三日に例会を開く申し合わせをしていましたので、名前を十三夜会としました。

現在三十五名の会員が家

庭から地域の活動へと積極的な活動がなされています。

なお昨年十月からこのグル

ープの有志十二名が園芸研究

ループを作り、ビニールハ

ウスによるキュウリ、トマト、菊などの促成栽培や、共

同田による種作の勉強などを

しています。

昨年十

月度からこのグル

ープは、本宮町

大津荷一高山

小津荷)がこ

のほど完成し

ました。

これは、熊野

橋が、(本宮町

大津荷一高山

今までの渡し

んでいた高津

舟に別れをつ

け、待ち望

んでいた高津

舟が、(本宮町

大津荷一高山

船が、(本宮町

大津荷一高山

船が